

令和2年度 岩出市学力調査の結果の概要

調査の概要

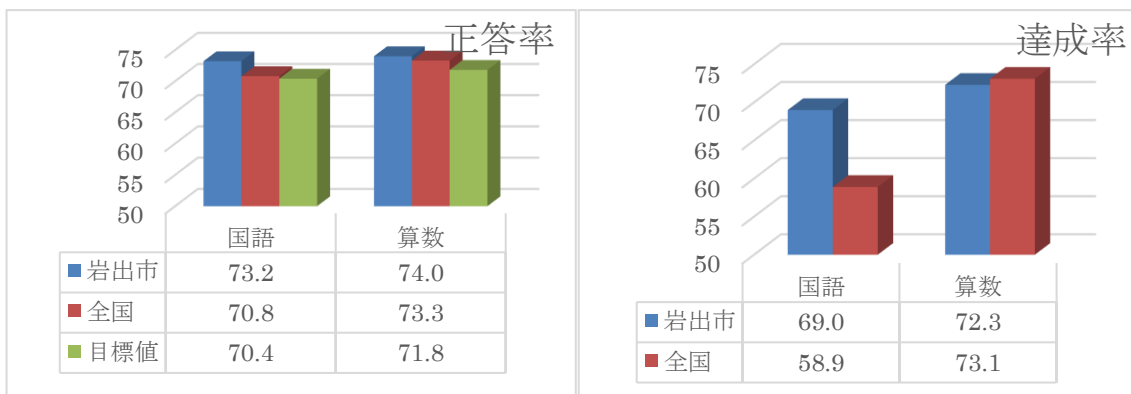
- 1 調査日 令和2年6月18日(木)
- 2 調査の目的
市内小中学生の学力や学習状況を早い段階から継続して把握・分析し、また、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に資する。
さらに、学習状況を個人に返すことで、学校及び家庭との連携を図り、児童生徒の学力向上に活かす。
- 3 調査対象 小学校3年、4年、5年、中学校1年、2年
※小学校6年及び中学校3年対象の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症にかかる状況及びその後の学校教育への影響を考慮し本年度は実施されなかった。
- 4 調査内容 教科調査 小学校：国語、算数 中学校：国語、数学

全 国・・・業者テストを採用した児童・生徒の平均値
正答率・・・対象となる設問におけるその集団の正答率の平均値
目標値・・・学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したもの
達成率・・・目標値と同程度以上の正答率であった児童・生徒の割合

教科調査

※○…説明事項 □…「できている」と考えられるもの ■…「課題がある」と考えられるもの

<小学校3年生>



【全体】

- 市全体の平均正答率は、「国語」「算数」とも目標値・全国正答率を上回っている。
- 達成率では、「国語」は69%の児童が目標値を達成しており、全国値を大きく上回っている。「算数」では72%を超える児童が目標値を達成しており、全国値と同程度である。
- 正答率度数分布では、「国語」「算数」とも正答率は上位層に厚い分布となっている。

【国語】

- 「言葉の学習」「物語の内容を読み取る」では、ほとんどの問題で全国正答率を上回り、目標値を大きく上回っている。
- 「説明文の内容を読み取る」では、『事柄の順序などを考えながら内容を読み取る』問題で、目標値を下回るとともに正答率も低く課題がある。また、『目的や必要に応じて文章の内容を整理する』問題は、目標値、全国正答率を下回っており課題がある。

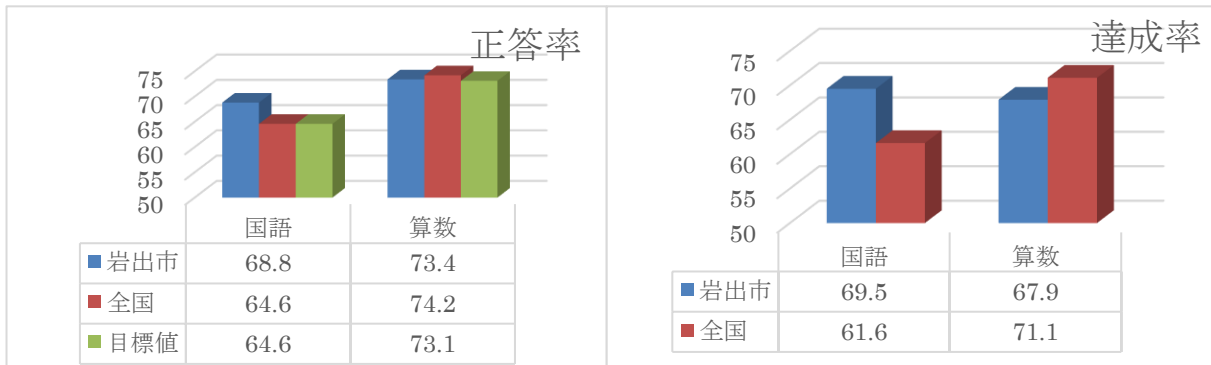
【算数】

- 「数と計算」「量と測定」「図形」領域のほとんどの問題で目標値・全国正答率を上回っている。特に、「た

し算・ひき算」「三角形と四角形」は、目標値・全国正答率を大きく上回っている。

■「かけ算」の『合計時間を求めて、その和が指定された時間内であることを説明する』問題では、目標値・全国正答率を下回り、正答率も低く課題がある。

<小学校4年生>



【全体】

○市全体の平均正答率は、「国語」は目標値・全国正答率を上回っている。「算数」は、目標値・全国正答率とほぼ同程度である。

○達成率は、「国語」で69%を超える児童が目標値を達成しており、全国値も上回っている。「算数」は約68%の児童が目標値を達成しているが、全国値を下回っている。

○正答率度数分布では、「国語」の正答率は上位・中位・下位層へのバラつき傾向がある。「算数」の正答率は、下位から中位へのバラつき傾向がある。

【国語】

□「話し合いの内容を聞き取る」「漢字の読み書き」「言葉の学習」「作文」では、ほとんどの問題で目標値・全国正答率を上回っている。特に、「作文」は、目標値・全国正答率とも大きく上回っている。

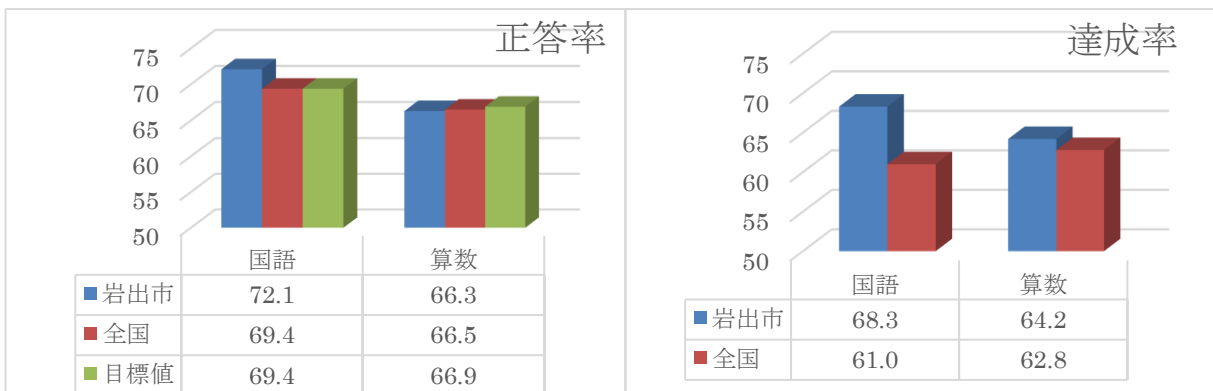
■「言葉の学習」では、『ローマ字のつづりを理解している』問題で、目標値・全国正答率を下回り、正答率も低く課題がみられる。

【算数】

□「数と計算」「数量関係」「量と測定」「図形」領域のほとんどの問題で、目標値・全国正答率と同程度若しくは上回っている。

■「時刻と時間」の『与えられた情報から目的地に着く時刻を求めることができる』問題では、目標値・全国正答率を下回り、正答率も低く課題がみられる。

<小学校5年生>



【全体】

○市全体の平均正答率は、「国語」は目標値・全国正答率を上回っている。「算数」は目標値・全国正答率とも同程度である。

○達成率では、「国語」は68%を超える児童が目標値を達成しており、全国値を大きく上回っている。「算

数」は64%を超える児童が目標値を達成しており、全国値を上回っている。

○正答率度数分布では、「国語」の正答率は、上位層に比較的厚い分布となっている。「算数」の正答率は、上位・中位・下位層へのバラつきがみられる傾向にある。

【国語】

□「話し合いの内容を聞き取る」「漢字の読み書き」「言葉の学習」「物語の内容を読み取る」「作文」では、ほとんどの問題で目標値・全国正答率と同程度または上回っている。特に、「作文」は、目標値・全国正答率とも大きく上回っている。

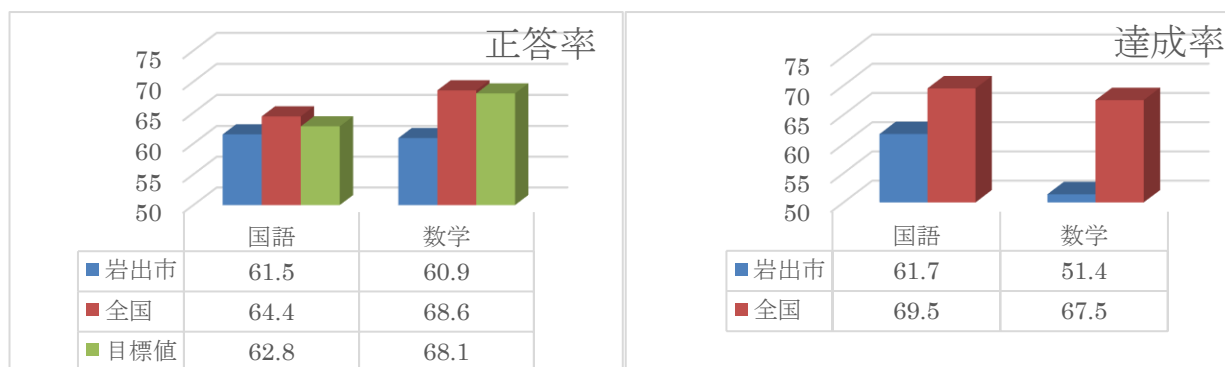
■「説明文の内容を読み取る」の『段落の役割を理解して、文章の内容を的確に読み取る』問題では、目標値・全国正答率を下回り、正答率も低く課題がある。

【算数】

□「数と計算」「数量関係」「量と測定」「図形」領域では、ほとんどの問題で目標値・全国正答率と同程度、若しくは上回っている。

■「数と計算」領域、「小数」の活用問題は、目標値を下回り課題がある。また、「わり算」の活用問題では、目標値を下回るとともに正答率が低く課題がある。

<中学校1年生>



【全体】

○市全体の平均正答率では、「国語」は、目標値・全国正答率を下回っている。「数学」は、目標値・全国正答率を大きく下回っている。

○達成率では、「国語」は61.7%、「数学」は51.4%の生徒が目標値を達成しているが、いずれも全国値を大きく下回っている。

○正答率度数分布では、「国語」「数学」とも、その正答率は上位・中位・下位層、各層に広がり分散している。

【国語】

□「話の内容を聞き取る」「漢字を読む」「文法・語句に関する知識」では、ほとんどの問題で目標値と同程度若しくは上回っている。

■「漢字を書く」では、『小学校で学習した漢字を書くことができる』問題で、目標値・全国正答率を下回り、正答率も低く課題がある。

■「文学作品の内容を読み取る」では、『文章の表現の特徴をとらえる』問題で、目標値・全国正答率を下回っており課題がある。

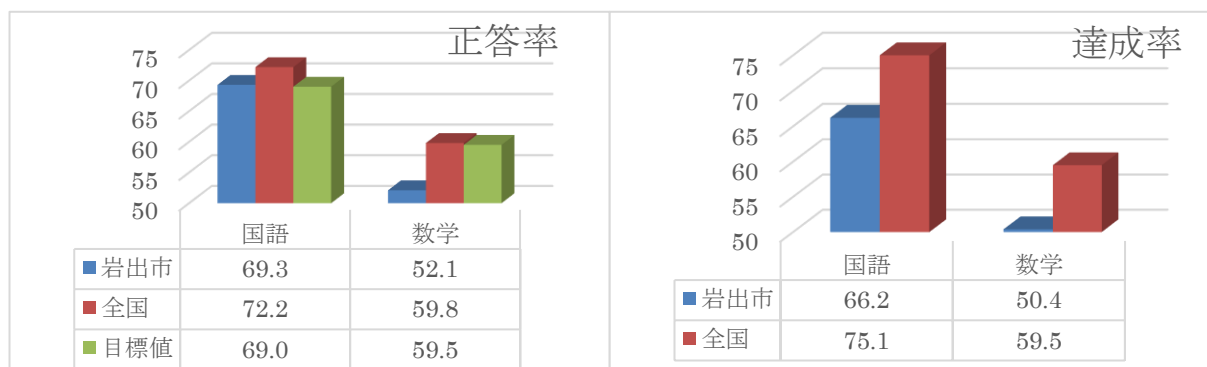
【数学】

□「図形」領域の問題は、一部の問題で目標値とほぼ同程度になっている。

■「小数・分数の計算」の『分数÷分数に関する文章題を解くための式をつくる』問題で、目標値・全国正答率を大幅に下回り、正答率も低く課題がある。

■「比と比例・反比例」の『6:9と等しい比を選ぶ』問題では、目標値・全国正答率を大幅に下回り、正答率も低く課題がある。また、『比の考えを利用して全体から一部の量を求める』問題では、目標値・全国正答率を大幅に下回り課題がある。

<中学校2年生>



【全体】

○市全体の平均正答率は、「国語」は目標値・全国正答率とほぼ同程度である。「数学」は目標値・全国正答率を下回っている。

○達成率では、「国語」は66.2%「数学」は50.4%の生徒が目標値を達成しているが、いずれも全国値を大きく下回っている。

○正答率度数分布では、「国語」の正答率は上位・中位・下位層、各層に広がる分散傾向にある。「数学」の正答率は、上位・中位・下位層、各層に広がり分散している。

【国語】

□「話し合いの内容を聞き取る」「漢字を読む」「文法・語句に関する知識」「文学作品の内容を読み取る」「話し合いをもとに馬術について新聞を書く」では、全ての問題で目標値と同程度若しくは上回っている。

■「説明文の内容を読み取る」では、『文章の展開に即して内容をとらえる』問題で、目標値・全国正答率を下回っており課題がある。また、『文章の構成や展開をとらえる』問題では、目標値・全国正答率を下回り、正答率も低く課題がある。

■「作文」では、『グラフAから2019年と2014年を比べて読み取ったことを書く』問題で、目標値・全国正答率を下回り課題がある。

【数学】

■「正の数・負の数」では、『負の数を含む数の大小関係について理解している』問題で、目標値・全国正答率を下回り課題がある。

■「文字式」では、『数量の間の関係を不等式に表す』問題で、目標値・全国正答率を大幅に下回り、正答率も低く課題がある。

■「平面図形」では、『図形を対称移動させてつくった模様を選ぶ』問題で、目標値・全国正答率を下回り課題がある。また、『示された模様が図形を回転移動させてつくったものであることを読み取り、移動の方法を説明する』問題で、目標値・全国正答率を下回り、正答率も低く課題がある。